



2-6 JICA 関西訪問 研修ノートより（生徒原文そのまま）

・全体を通して、自分の今いる環境に感謝しようと思いました。今の日本で文字の読めない人は世界と比べると本当に少ないし、食事も生きるためではなく楽しむためのものです。そして今回の話を聞いて、途上国で何かしたいと思いました。(略) このような素敵な機会に参加することができて良かったです。

・一番記憶に残っている言葉は、「何かのために手を差し伸べることは、日本でも海外でもどこからでもできる」ということです。これから自分もこの気持ちを持ちながら過ごしていきたいと思いました。

・今日エチオピアのことについてたくさん知ることができたと同時に、自分たち（日本）がどれだけ恵まれているのかを実感することができました。普段、何気なく行っている学校や受けている授業は開発途上国の人々にとってはすごいことなんだとわかりました。なので、日常生活であたりまえだと思っていることや小さな幸せを見つけて、それに日ごろから感謝しようと思いました。

・誰かのためにやっている人はかっこいいと思った。(略) 本当に大切なものは何かを考えて、行動することが大切だと分かった。家族を大切にしたい思いが強くなった。

・今回の JICA 関西での学習を通して、今まで、知っているのは名前だけでどんな活動を行なっているのか、そこで何ができるのかなどは知らなかったのができてよかったです。
また、JICA 海外協力隊で活動されていた方の体験談を聞いて、実際に行ってみないとわからないことやエチオピアの文化などを知ることができました。全体の生徒数や、停電・断水・ガス欠が起こる頻度など日本と大きく違う点も多く、驚きました。(略) 今まで来たことがなかったのでイメージと違う点が多く面白かったです。

・今回の授業で、国際協力について実際に学ぶ経験をすることができた。これまで国際協力という言葉は知っていたけど、私たちの生活には関係ないと思っていた。しかし、研修を通して、その活動が私たちの生活とも深くつながっていることを知れた。

研修では、発展途上国が抱える問題や、それに対して JICA がどのような支援を行っているのかを具体的に学べた。特に印象に残ったのは、「支援する側が一方向的に助けるのではなく、現地の人々と一緒に考えることが大切だ」という考え方です。この言葉から、国際協力は人と人との信頼関係の上に成り立っているのだと感じました。

また、世界には私たちが当たり前だと思っていることが当たり前ではない国や地域が多くあることを改めて実感できた。

今回の研修を通して、世界に目を向けることの大切さを学んだ。将来すぐに国際協力の仕事に就くことはなくても、ニュースや社会問題に関心を持ち、自分にできることを考え続けていきたいと思った。

・ JICA という単語は聞いたことがあったけれど初めて概要を知りました。ここに来る前には（略）高いハードルがあると感じていました。ですが、（略）できることは人それぞれでそれをどのような方法で活かすのかが重要だと気がつきました。齋藤さんのお話を聞いて、JICA の活動に非常に興味が湧きました。

・ JICA やそういった活動はもっと難しく、狭き門だと思っていたが、齋藤さんの JICA に興味をもったきっかけだったり、JICA の活動のことを見学してみて、誰でも得意なことを生かして参加できることを知って、イメージがとても変わった。

・ この講義を通して、日本文化との違い、異文化理解が高まった気がします。これからは今日学んだことをこれからの人生にいかしていきたいです。

・ 研修を通じて、国際協力について知りましたが、同時に世界の問題についてもわかって、今後意識していくべき課題を見つけられました。（略）とても貴重な時間を過ごすことができました。

・ 今日ふだん考えないけど、とても大切なことを考える時間がたくさんあったからいろんなことに新しく気づけたし、改めて自分たちは今とても幸せで、この幸せはありがたいことなんだと感じました。ワークショップでは普段友達と話さないようなことを話しあえたし、深く考えることができたからとても良い機会でした。

・ 今日初めて JICA という名前を聞いたけれど、本当に素敵な取り組みだなと感じました。今回この JICA に来られてよかったなと思いました。

・ 自分はエチオピアを含むアフリカのような開発途上国に行った経験がないので、いつか、日本とどういったところが違うのか、宗教、文化と国はどうつながっているのか、ということを学びつつ、その国を支援できるような人になりたいです。（略）そして JICA のモットーである「信頼で世界をつなぐ」のように、自分も相手からの信頼を大切に、また信頼してもらえるような人間関係を持ちたいと思いました。

・ 話の中で、東日本大震災のときの各国からの支援について、開発途上国を含む 174 カ国からたくさんの支援や応援メッセージがあったと聞いて、すごく驚きました。自分たちの生活も決して楽なものじゃないはずなのに大きな災害で苦しんでいる日本のため、他国のために支援できるっていうのは本当にわかりやすい、すばらしい「国際協力」と例だと思います。

・ 施設見学が一番おもしろかったです。いろいろなクイズもあったし、民族衣装があったり、地震についても日本で起こったことしか知らなかったけれど、海外でこんなことが起こったんだなと知ることができました。災害の死者数が多くて悲しくなりました。

・ これまで、学校の授業などで世界のことについて何度も習ってきたけど、いまだに知らない問題や、各国の文化、価値観などがあって、場所が少し違うだけで、すべてが覆されることがあるんだなって思った。

・今日全体を通して、相互に支えあうことが大切だと思った。それに規模は関係なく、個人のあいだ、地域のあいだ、国のあいだでも大切なことだと思う。まずは見返りを考えずに助けることが相互に支えあうことの第一歩だと思う。

・今日 JICA に来て、たくさん話を聞いて、だれかのために何かをすることはいいことだなと思っ
たし、人とのつながりをもっともっと大切にしていけないといけないなと感じました。

・テレビで見たり、私が思っていたよりもアフリカは発展していて、日本とあまり変わらないところ
を聞いて楽しかったです。一方で、小学校を中退する子どもが多く、毎日停電、断水、ガス欠がある
と聞いて、そこは日本に住んでいて恵まれているなと思いました。

・今回の研修を通じて、世界の課題は自分が思っていた以上に身近で複雑なものだと感じました。
(略) 世界の課題に関心を持ち続け、自分にできることを考えていきたいです。

・ワークショップでは自分の弱さとか人への思いやりとか自分が難しいと思ってあまり触れてこなか
った内容について話し合えたから本当に良かった。いい時間だった。もし機会があればまた行きたい
と思った。

・ふだん行くことのない JICA に行けて、実際体験をした方の話も聞くことができて、とても貴重な
経験ができたと思います。さまざまな視点から見て新たな学びや気づきがあり、考え方も変わったと
思います。

・人は常にお互いを支え合って生きています。人とのつながりがなければ、困った時に手を差し伸べ
てくれる人がいませんし、誰かと共に喜びを感じて共有しあうこともできません。人生で出会う人達
から多様な価値観や考え方を学び、それが個人の人格の形成に大きく関わると思います。

今、色々な場所から色々な人達が集まって宝塚西高校の 2 年 6 組でみんなと授業を受けたり笑い
合ったりできるのは奇跡です。意図的に集められたものではありません。これからも一つ一つの出会
いを大切に、人に寄り添うことを忘れずに生きていきたいです。

